

第一化成

長年培った染料販売の経験に裏打ちされた繊維関連のビジネスをより強化しながら、化学品市場のグローバル化の加速を背景に、事業基盤の強化につながる新事業をどう育てていくのか。第一化成は、昨年の創業70周年を受け今期を第2の創業期と位置付け新たなビジネスチャンスの掘り起こしに本腰を入れている。

目を引くのが海外戦略
拠点として2006年、

内外で新規事業開拓加速

タイ・バンコクに設立した販売会社、第一化成タイランドを軸にした増販プロジェクト。事業が軌道に乗る三洋化成工業製の合成木材は自動車のデザインモデルなどを効率

的に制作できる高機能材料として現地に進出する日系企業などに高く評価され受注は右肩上がり。

歴史のある繊維関係のビジネスでも、タイ法人

したビジネスをタイ以外
の東南アジア諸国にも拡大する」と意欲的だ。

だ。「繊維加工剤関係は北
陸支店、奈良営業所の試

を拠点にしてインドネシアや中国に繊維加工樹脂を拡販。奈良敏行社長は「タイ国内でも日系企業に加工薬剤や染料を小口販売する事業が好調に推移しており、今後、こう

研究室、倉庫などを活用し
地域密着で拡販に取り組み売り上げは順調に推移し、機能加工剤の蓄熱剤、旗用難燃剤なども好調だ」さらに独自のネットワークなどを活用し顧客

とメーカーのマッチングで成長してきた機能材事業は、『新たなニーズとシーズの掘り起こし』を戦略の基本テーマに掲げた営業展開で飛躍を目指している」と気合十分だ。

住化ケムテックスと共同で取り組むイオン交換樹脂・キレート樹脂、それに純水製造設備（混床塔）改良型システム用樹脂やプロセス処理用キレート樹脂など環境関連事業の足取りも着実。来期は国内外で複数の新事業が浮上してきそうだ。